

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル・エクセレント・オープン（愛称 世界連峰）」は、このたび、第17期の決算を行いました。

当ファンドは、グローバル・エクセレント・マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資し、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第17期末(2016年8月26日)

基準価額	9,645円
純資産総額	118百万円
第17期	
騰落率	△3.6%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページの「ファンド一覧」等から当ファンドのファンド名称を選択することにより、「ファンド詳細」ページにおいて運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

グローバル・エクセレント・オープン (愛称 世界連峰)

追加型投信/内外/株式

作成対象期間：2016年2月27日～2016年8月26日

交付運用報告書

第17期(決算日 2016年8月26日)

 **岡三アセットマネジメント**
〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]
<http://www.okasan-am.jp>

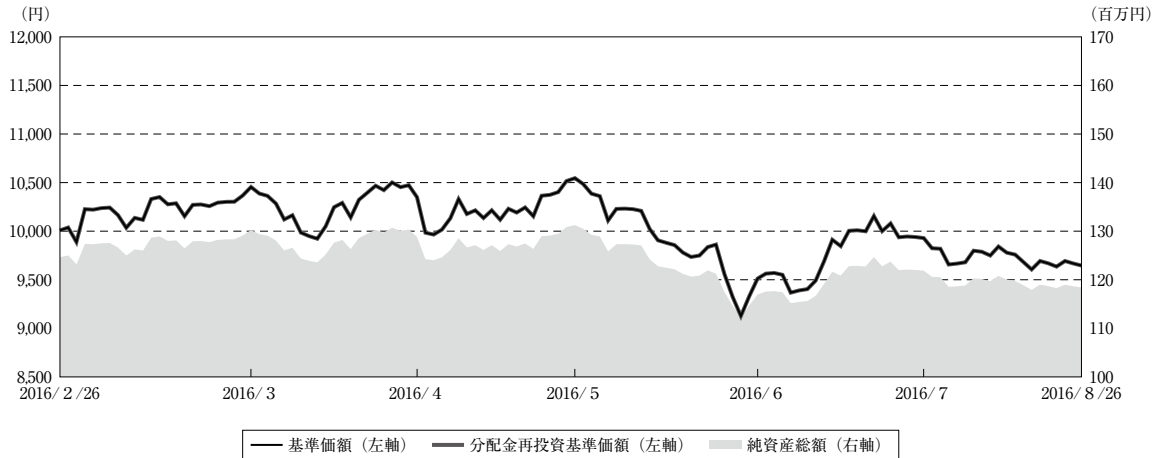
※アクセスにかかる通信料はおお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



運用経過

期中の基準価額等の推移

（2016年2月27日～2016年8月26日）



期首：10,007円

期末：9,645円（既払分配金（税引前）：0円）

騰落率：△3.6%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2016年2月26日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の変動要因

当ファンドの主要投資対象である「グローバル・エクセレント・マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・米国の利上げ環境下で事業環境の改善が期待される銀行株の上昇がプラスに寄与しました。
- ・個別では、高成長が継続する米国のAMAZON.COM INCに加え、欧州の景気回復や通貨安の恩恵が見込まれるドイツのSIEMENS AG-REGや英国のGKN PLCなどの上昇がプラスに寄与しました。

（主なマイナス要因）

- ・ウェイト付けを図ったIT関連株や消費関連株の下落がマイナスに寄与しました。
- ・個別では成長期待が剥落した米国のSTARBUCKS CORPや、臨床試験の失敗が発表された米国のBRISTOL-MYERS SQUIBB COなどの下落が基準価額にマイナスに寄与しました。
- ・為替市場において、先進国の主要通貨に対して円高が進んだことが基準価額にマイナスに寄与しました。

1万口当たりの費用明細

(2016年2月27日～2016年8月26日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	円 81 (38) (38) (4)	% 0.795 (0.376) (0.376) (0.043)	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株式)	4 (4)	0.040 (0.040)	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	8 (6) (1) (1)	0.076 (0.060) (0.006) (0.009)	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合計	93	0.911	
期中の平均基準価額は、10,137円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

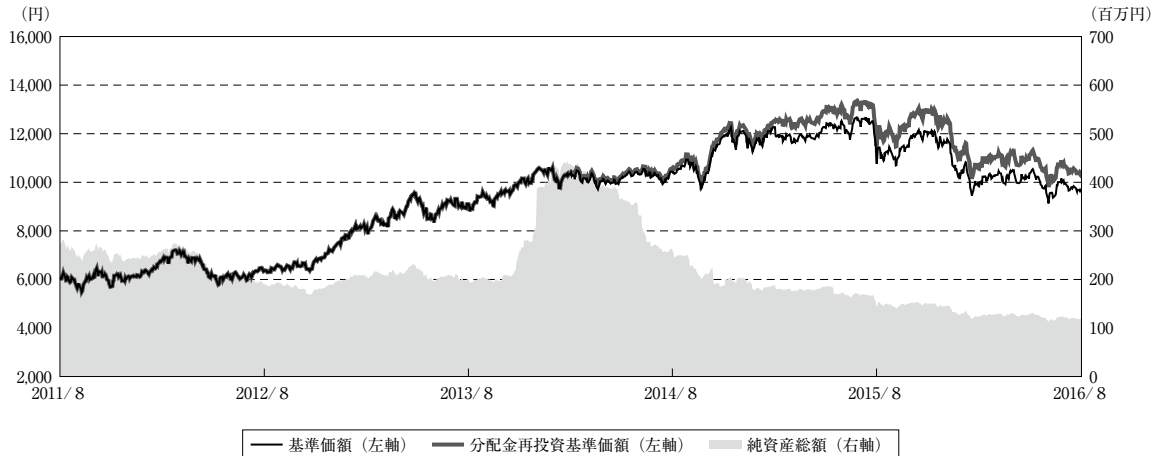
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2011年8月26日～2016年8月26日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2011年8月26日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2011年8月26日 期初	2012年8月27日 決算日	2013年8月26日 決算日	2014年8月26日 決算日	2015年8月26日 決算日	2016年8月26日 決算日
基準価額 (円)	6,015	6,373	9,100	10,401	10,760	9,645
期間分配金合計(税引前) (円)	-	0	0	200	600	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	6.0	42.8	16.5	8.9	△10.4
S&P 500指数騰落率 (%)	-	21.7	17.9	20.1	△6.5	16.3
ストックス・ヨーロッパ600指数騰落率 (%)	-	18.0	13.7	11.7	4.7	△4.0
純資産総額 (百万円)	274	189	200	257	143	118

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) S&P 500指数、ストックス・ヨーロッパ600指数は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

投資環境

（2016年2月27日～2016年8月26日）

世界の株式市場は、4月中旬にかけて原油価格が反発基調となったことや、米国の景気持ち直しへの期待が高まったほか、欧州中央銀行（ECB）が追加金融緩和を決定したことが好感され、反発しました。6月中旬にかけては、米国の主要経済指標が市場予想を下回ったことに加え、欧州大手金融機関の業績悪化懸念などが悪材料となり、上値の重い展開となりました。一方、米国の利上げ観測の後退や原油価格の上昇が株価を下支える要因となりました。しかし下旬には、英国の欧州連合（EU）離脱が決定し、先行き不透明感が高まったことから急落しました。7月以降は、米国企業の業績回復への期待が強まったことに加えて、英国の新首相が決まったことからEU離脱決定後の政局に対する不透明感が後退し、戻りを試す展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2016年2月27日～2016年8月26日）

当ファンドの運用はマザーファンドを通じて行いました。

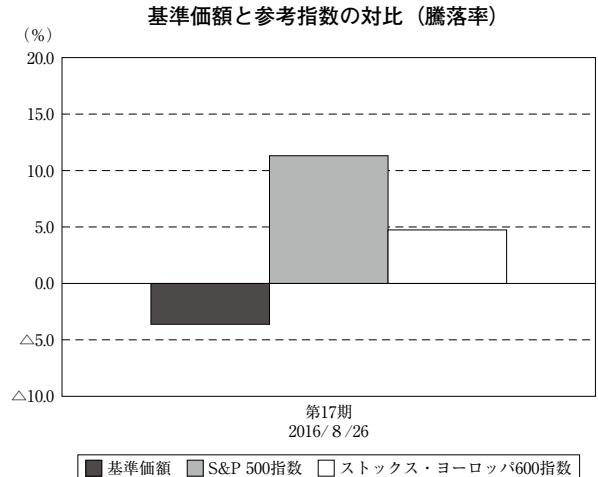
マザーファンドの運用につきましては、3月上旬にかけて、成長が見込まれる米国のIT関連株や業績回復が期待されるフランスの資本財株などを買付け、株式組入比率を引き上げました。その後、6月に、英国のEU離脱懸念に伴う世界経済の減速を警戒し、株価バリュエーションが高いと判断したインターネット関連株やグローバルで事業を展開する資本財株などを売却し、株式組入比率を引き下げました。7月中旬以降、投資家のリスク回避姿勢が後退したと判断し、欧州の化学株や機械株などを中心に買付け、株式組入比率を再び高めました。

国別では米国を高位に維持し、ドイツやスイスのウェイトを引き上げ、業種別では素材、エネルギー、情報技術のウェイトを引き上げました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2016年2月27日～2016年8月26日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）参考指数は、S&P 500指数、ストックス・ヨーロッパ600指数です。

分配金

（2016年2月27日～2016年8月26日）

当ファンドは、毎年2月26日および8月26日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。

当期の分配につきましては、見送りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第17期
	2016年2月27日～ 2016年8月26日
当期分配金 (対基準価額比率)	- -%
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	2,321

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**<投資環境見通し>**

今後の世界の株式市場は、米国の利上げへの警戒感が残るものの、企業業績の回復期待を背景に、底堅い展開になると予想します。米国においては、景気は一部の経済指標に伸び悩みの兆しがみられるなど力強さにかけるものの、緩やかな拡大基調が継続すると考えます。欧州においては、金融緩和策の継続が景気の下支えになることに加え、ユーロ安・ポンド安の恩恵を受ける輸出企業等の業績回復への期待が高まると考えます。

<グローバル・エクセレント・オープン（愛称 世界連峰）>

主要な投資対象である「グローバル・エクセレント・マザーファンド」の組入れを高位に維持して運用する方針です。

○グローバル・エクセレント・マザーファンド

当面の運用方針としては、米国や欧州などの先進国の株式を中心としたポートフォリオで運用を行います。また、銘柄選別におきましては、高成長が見込まれる米国のIT関連株に加え、業績回復が見込まれる素材株や資本財株などに注目し、組入れる方針です。

お知らせ

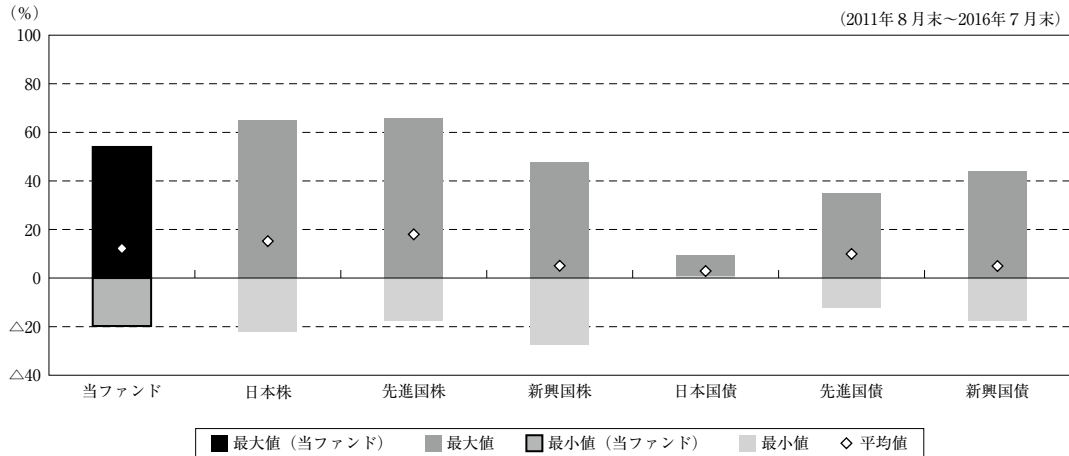
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2008年2月28日から、原則として無期限です。	
運用方針	グローバル・エクセレント・マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券への投資を通じて、主として世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資し、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・エクセレント・マザーファンド	世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	グローバル・エクセレント・マザーファンド	主として世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）の中から、相対的に市場シェアの高い製品・サービスを有し、収益力・財務体質・マーケティング戦略に優れ、グローバルな経済成長の恩恵が期待される企業の株式、およびこのような企業に成長していくことが見込まれる企業の株式に投資します。
分配方針	毎年2月26日および8月26日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：％）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	53.9	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△19.8	△22.0	△17.5	△27.4	0.4	△12.3	△17.4
平均値	12.2	15.2	18.0	5.0	2.8	9.9	4.9

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

（注）2011年8月から2016年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2016年8月26日現在）

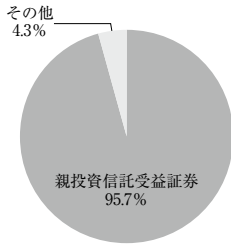
○組入上位ファンド

銘柄名	第17期末
グローバル・エクセレント・マザーファンド	95.7%
組入銘柄数	1銘柄

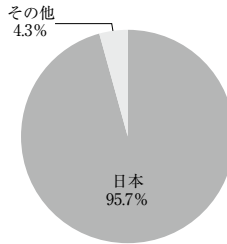
（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

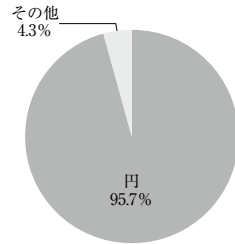
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

（注）国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

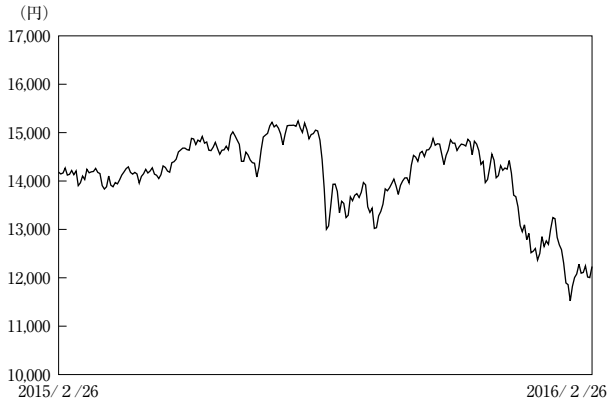
項目	第17期末
	2016年8月26日
純資産総額	118,392,117円
受益権総口数	122,746,267口
1万口当たり基準価額	9,645円

（注）期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は1,800,000円です。

組入上位ファンドの概要

グローバル・エクセレント・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2015年2月27日～2016年2月26日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株式)	19 (19)	0.134 (0.134)
(b) 有価証券取引税 (株式)	4 (4)	0.030 (0.030)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	56 (55) (1)	0.396 (0.389) (0.007)
合計	79	0.560

期中の平均基準価額は、14,213円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

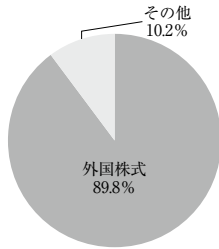
【組入上位10銘柄】

(2016年2月26日現在)

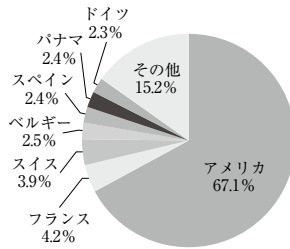
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	AMAZON.COM INC	小売	米ドル	アメリカ	5.4
2	FACEBOOK INC-A	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	4.2
3	HOME DEPOT INC	小売	米ドル	アメリカ	3.7
4	VISA INC-CLASS A SHARES	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	3.6
5	DANAHER CORP	資本財	米ドル	アメリカ	3.4
6	STARBUCKS CORP	消費者サービス	米ドル	アメリカ	3.4
7	BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	3.1
8	HONEYWELL INTERNATIONAL INC	資本財	米ドル	アメリカ	3.1
9	COSTCO WHOLESALE CORP	食品・生活必需品小売り	米ドル	アメリカ	3.0
10	COMCAST CORP-CLASS A	メディア	米ドル	アメリカ	2.9
	組入銘柄数		40銘柄		

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
 (注) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。

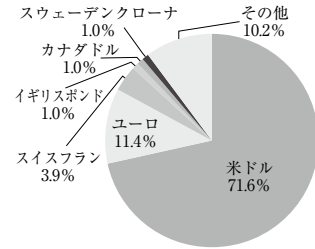
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
 (注) 国別配分につきましては、発行国を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。